

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町吉町田12-1
TEL:68-7233

7月の事業実績と8月事業計画

日程	行事名称	実績	備考
7/13(木)	すこやか講座 交通防犯教室	済	
8/1 (月)	自然観察と体験学習	-	
8/20(土)	公民館運営審議会	-	

公民館講座教室作品展 (市民会館東ギャラリー)



西部公民館の墨絵教室で活動している皆さん(代表・渡邊光昭)の作品展が7月16日(土)から8月18日(木)の間、市民会館東ギャラリーで開かれています。令和2年のコロナ感染拡大から公民館の利用がままならない中、状況の良いときに教室を開き作品構想を検討しては、家庭で制作し作りためたそうです。メンバーはコロナを乗り越えてきて制作活動が出来る喜びを展示に表しました。写真では分かりづらいですが、力作ぞろいですので皆さん見に来てください。コロナの感染が少ないときにメンバー揃って会場を下見し、見栄えの良さを模索し展示しました。7月末現在BA5のオミクロン株の感染が爆発的に増加しています。再び行動制限が発令されず公民館が利用でき学習が進むよう願っています。又教室は同好の方を随時募集中です。

西部小学校『劇団風の子・ぱらりっせ』を観劇

7/8日(金)西部小学校にて観劇会が開催されました。岐阜に拠点を置く『劇団 風の子 中部』が学校にきて素晴らしい演技を児童達を前に披露してくれました。今回はコロナ禍での文化庁の補助事業を活用して申込みを行い開催することができたそうです。



観劇後の感想
おもしろくて、見ていて楽しくなるような劇をしてくれて、ありがとうございました。私は今回初めて『ぱらりっせ』を見たけれどとても楽しかったです。なので、また機会があったら見てみたいと思いました。私がとくにすごいと思ったのは、竹馬と劇です。竹馬では、とても短いものなど、いろいろな長さのものを使っていてすごいと思いました。劇では1人だけでたくさんの役や声をしていて、思わず笑ってしまうほどおもしろかったです。見れてよかったと思います。これからも頑張ってください。(6年 山本)

すこやか講座 4 『蒲郡いま、むかし』

6月29日(水)すこやか講座「蒲郡のいま、むかし」を開催しました。当日は博物館の小田美紀学芸員が数々のむかしの蒲郡の様子を写した貴重な写真、動画を紹介してくれました。特に70歳以上の方は自分の幼い頃の記憶を呼び覚ます写真も数多く紹介されていたと思います。数々の写真の中から今回は、神ノ郷町に関係する一部を抜粋して掲載してみました。年配の方には懐かしく、若い世代には驚きの写真ばかりだと思います。



(戦前のみかん切り)



(昭和30年代 みかんの蒔もかぶせ)



(昭和35年 天桂院山と田お越し)

ひじり会先没会員追弔法要会

7月12日(火)午後13:30より常善寺に於いて西部ひじり会(杉浦昭夫会長)による「先没会員追弔法要会」がとりおこなわれ、故人の遺徳を偲びました。本年度は3年ぶりに例年通りの開催ができました。当日はあいにくの激しい雨模様でしたが、無事法要を終えることができました。毎年7月12日に行われますので会員の方のお参りお待ちしております。



すこやか講座 5 『交通・防犯教室』

7月13日(水)すこやか講座 交通・防犯教室を開催しました。当日は防犯に関して蒲郡警察署より、交通安全に関しては愛知県警交通安全教育チーム『あゆみ』より婦警2名の方が寸劇による高齢者の交通安全に関する話をしてくれました。まず初めに蒲郡警察署より市内侵入盗被害が増加しており6月末時点で18件、令和3年比3倍に達しているとの説明がありました。・在宅中は家の中に人が居ることを外部判らせるようにする。・施錠は二重ロックなど開けるのに時間がかかる器具の取り付け ・就寝時も1部屋点灯するなど防犯につながる方法を紹介してくれました。

・交通安全に関しては、高齢者の事故の特徴である、あ・じの・ひ・ら・きをパネルを使って判り易く説明する人、高齢者に扮して危険な行為を演じる人が掛け合いを行いながら面白可笑しく安全に関する注意事項を講演頂きました。

高齢者事故の特徴

あ・・・歩く人
じ・・・自転車に乗る人の
ひ・・・左から来る車と衝突
ら・・・ライトが点く頃に多発
き・・・近所で油断



婦警の方2名による掛け合いの寸劇

毘沙門堂の阿弥陀如来坐像

先月号で久古地区にある毘沙門堂と阿弥陀堂が建物の老朽化により解体・廃堂となったことをお知らせしました。この阿弥陀堂の本尊は阿弥陀如来坐像ですが、この像については、蒲郡市誌の本文編1の中世の仏教美術（P235）で詳しく述べられています。『神ノ郷町の毘沙門堂には庫裏を兼ねた阿弥陀堂があるが、その本尊として像高32.2cmの阿弥陀如来坐像が祀られている。この像は、ヒノキ材・寄木造・漆箔・玉眼の技法で、地髪をふくらませて髪際を波形として、衣文を深く写実的に刻むなど、鎌倉時代から南北朝時代にかけての様式が継承されているが、眦が吊り上がったやや扁平な顔の表現や構造的な特色から16世紀の室町時代に制作されたものと推定される。』と書かれています。又この仏像は台座（蓮華八重座）と光背を備えています。この光背のほぼ真ん中で頭の後ろに和鏡（古鏡）があり藤原光長の銘が有り検索してみると江戸時代中期から後期の鏡師で詳細は不詳ですが毘沙門堂・阿弥陀堂建立の時期と概ねかさなります。鏡は落ちない様、打ち付けてあり、又手で持つ部分が極端に短いので台座や光背とは別時期の制作でお堂に安置する段階で新しく鏡を取り付けたか、又仏像・台座・光背が別時代・別々制作など分からない事がいっぱい魅力的な仏像です。こういった仏像の時代背景ですが、前の年代で、未法思想の広まりで阿弥陀如来等の仏像の大規模な造仏が盛んにおこなわれました。又室町時代に入ると仏像を必要としない宗派も起こり造仏は少なくなったと書かれています。【ここからは感想と推測です】しかしながら私達には、この阿弥陀如来坐像が毘沙門天像と共に300年に渡り元長応寺跡で大切に守られてきた事実がこの地区の今を生きる私達には重要で2体の像は今後も丁寧に保存していく必要があると感じました。

大きな寺院にあるような立派な仏像（毘沙門天像・阿弥陀如来坐像）がなぜあるのでしょうか。この地は元長応寺があり、鵜殿氏の菩提寺でありました。永禄5年2月4日松平元康の上ノ郷城攻めでの焼き討ちの火がお寺にも及び、人々が仏像を持ち出しわら小屋等に見つからぬよう、長く隠し続けました。戦乱の世が明け戦の無い日々が続く185年という長い年月が過ぎたころに、もう良いだろうと地中から掘り出した事にして、領主松平兵庫の許しを得て山本地区の尾崎一徒の人々がお堂を建立し仏像を安置し、300年余の間お守りし現在に至りました。鵜殿氏が熊野地方の鵜殿と言う所から海を渡りやって来て、この地に住み繁栄と共に歩み、戦国に入り鵜殿氏が敗れるとお寺は焼失し、菩提寺の像ということで長きにわたり隠されることとなり、その後尾崎一徒に守られてきました。

傷ついた蓮華八重座を見るにつけ激動の時を過ごしたことがうかがえます。以上述べたように有るに付け、無いに付け歴史ロマンを感じます。又これらの仏像についての“いわれ”“伝承”などご存知の方は公民館迄ご連絡ください。又言い伝えが無いので内容に誤りが有ったらお許しください。



尚、毘沙門天像と阿弥陀如来坐像は神ノ郷町(含む宮成町)の皆様には8月2日(火)より公民館北ノ間にてご覧頂けるように準備中です。(小林)

参考にした書籍類・市史・宝飯郡史・インターネット

令和5年NHK大河ドラマ『どうする家康』放映前の豆知識

今回は鵜殿氏です。鵜殿氏については、蒲郡の郷土史家による優れた論文や先生方の研究など多くありますが、今回は教育委員会発行の『がまごおりの歴史』より大部分を抜粋・転載させていただきます。

【熊野の人々】

藤原俊成によって開発された竹谷荘・蒲形荘は、のちに熊野別当（熊野を治めていた人）にゆずりわたされた。それ以来、蒲郡と熊野地方は深い関係を持つようになったといわれています。市内の神社のうち、大宮神社・竹谷神社・神倉神社などは、熊野の神様をまつています。また坂本町の勝善寺の鐘には、熊野別当の名前がみられます。戦国時代に活躍した鵜殿氏は、熊野地方の鵜殿というところが出身地です。このように熊野から海をわたってきた人々が、蒲郡で果たした役割は大きかったといえます。

【鵜殿一族】

戦国時代に蒲郡の中心部あたりを支配していた領主が鵜殿氏です。一族は上ノ郷城（神ノ郷町）・下ノ郷城（上本町）・不相城（竹島町）・柏原城（柏原町）に分かれ住んでいました。鵜殿氏の本家は上ノ郷城に住んでいた一族です。鵜殿氏の本家は、徳川家康と敵対していたため、1562年、家康によって攻め込まれ滅んでしまいました。上ノ郷城は落城し、城主の鵜殿長照は討ち取られています。この戦いは、家康が忍者をつかって城攻めを行なったことで有名です。はじめ家康は何度も上ノ郷城を攻めたが、城の守りはかたくなかなか落とすことはできませんでした。そこで夜中に城に忍者を送り込んで火をつけさせ、城内が混乱したところを攻め落とすと伝えられている。



一方、下ノ郷城・不相城・柏原城の鵜殿氏は家康に味方することで生き残りをはかった。家が絶えてしまわないように、一族が敵・味方に分かれるということは、戦国時代にはよくあるできごとだった。その後、鵜殿氏の子孫たちは、旗本として将軍家に仕えたり大名の家臣となったりしました。



『点線で囲まれたところが名取とよばれる地域です。家康は名取に陣をかまえて上ノ郷城を攻めたといわれる。伝説の家康が腰かけて指揮したといわれる（家康の腰掛岩）はこの付近に有るといわれています』

※『内はがまごおりの歴史からの引用ではありません。』

くるりんバス情報

西部地区支線バス「みかんの丘くるりんバス」6月乗車人数報告

6月の乗車人数は合計125人でした。1便当たり平均乗車人数は1.4人です。例年より梅雨明けが早く暑い日が続きます。体調に気をつけて、お出かけの際は涼しくて快適なみかんの丘くるりんバスをご利用ください。

また7月21日(木)～9月18日(日)の期間で、「東三河バス整理券ラリー&徳川家康謎解きゲーム」という、東三河地域のバスや電車に乗って、楽しみながらバスや電車の乗り方を習得しようというイベントが開催されています。バスに乗車し謎解きをすると抽選でお菓子の詰め合わせなどが当たります。この夏休み、ぜひ家族でバスに乗ってお出かけください。

公民館からのお知らせ

- ・公民館臨時休館日のお知らせ 8月13日(土)～16日(火)
- ・本年度の神ノ郷町敬老会は公民館での式典はありません。別途区議員より対象（昭和18年12月31日以前に誕生の方で神ノ郷町に在籍）の宅に記念品をお届けします。（市内の多くの地区で同様の方式でのお祝いに変ってきています）